

1回生から
参加可能!



京都の社会が
あなたのキャンパスになる



大学コンソーシアム京都

INTERNSHIP PROGRAMS

インターンシップ・プログラム 2023

ビジネスコース / パブリックコース
長期プロジェクトコース
募集ガイド



実習先を決定する

実習先検索サイトから
実習内容を検索!



Webで出願

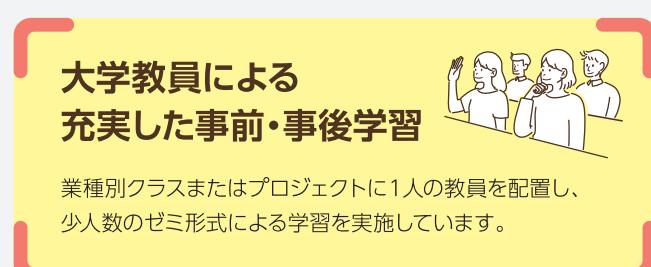
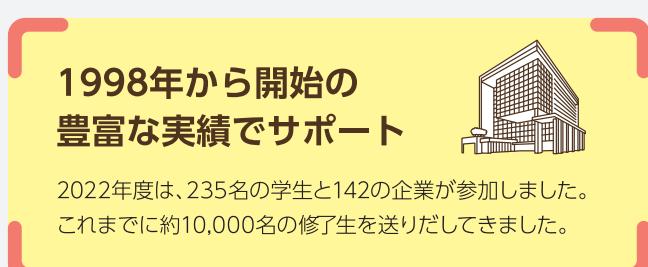
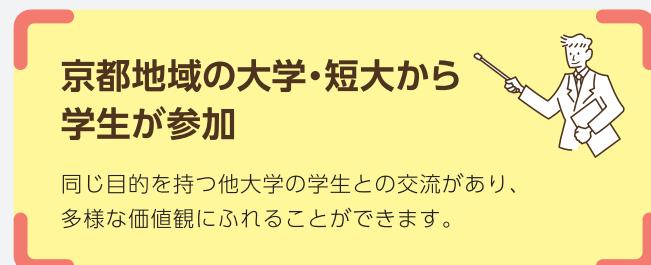
4月7日(金) 9:00
～5月5日(金) 12:00(正午)



公益財團法人大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

大学コンソーシアム京都のインターンシップ・プログラムについて

就職活動としてのインターンシップではなく、大学における学びの一環として位置づけ、実体験と教育研究の融合による「学習意欲の喚起」「高い職業意識の育成」「自主性・独創性のある人材育成」を目的とした教育プログラム（コーオプ教育）として、1998年度より全国に先駆けて開始しています。単なる就業体験にとどまらず、実践から「働く」を考え、社会人基礎力を育成するカリキュラムを持ったキャリア教育として、受講生からも高い満足度を得ています。



ビジネスコース / パブリックコース …P5

[事前学習] → [事習] → [事後学習]という体系化された学習プログラムを通じて、実社会への理解を深め、社会性や職業観を身につけるとともに、実習後の学生生活における課題の整理と目標を明らかにすることを目指します。事前学習・事後学習では、ビジネスコースは業界・業種別に、パブリックコースは行政・非営利組織別にクラスを編成し、他大学の学生と共に、業界研究やディスカッション等を行うことで、目標達成に向かいます。

→ ポータルサイト(ビジネスコース／パブリックコース)



長期プロジェクトコース …P9

プロジェクトを通して、さまざまな角度から実社会を見つめ、現状を把握する力、課題を発見する力、その課題を解決する力を身につけることが目標です。受入先が提示したプロジェクトのテーマに沿って成果重視の活動を行うプログラムであり、受入先にとっても大きなメリットがあります。そのため専門性や独創性が求められます。

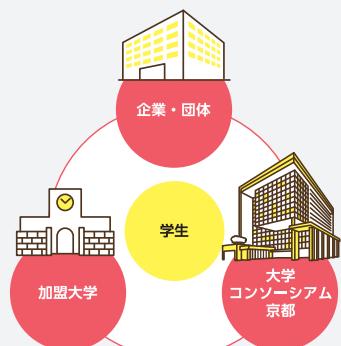
→ ポータルサイト(長期プロジェクトコース)



公益財団法人 大学コンソーシアム京都

京都には、数多くの大学・短期大学が集積しています。その都市特性を活かすため、京都市と大学を中心とした産学公の連携により、1994年に全国初の大学連携組織である「京都・大学センター」が設立され、単位互換事業やインターンシップ事業など、全国に先駆けて様々な事業を実施してきました。現在は約50の大学・短期大学に加え、地方自治体・経済団体も参画する全国最大規模の大学間連携組織に発展しています。

グローバル化や少子高齢化をはじめ、私たちをとりまく社会環境は大きく変化しており、幅広い視野を持って社会を担う人材の育成や留学生受け入れの拡充、更には地方創生の推進拠点としての位置付けなど、大学・短期大学に求められる社会的要請はより一層高まりを見せています。このような中、各大学・短期大学が、それぞれの特長や個性を活かした教育の質向上に努めるとともに、京都地域全体の魅力を向上させるため、大学連携組織としての当財団の果たすべき役割はこれまで以上に大きくなっています。これからも、大学コンソーシアム京都では、その時々の変化や大学・短期大学、学生や市民の皆様のニーズに対応しつつ、「大学のまち京都・学生のまち京都」の発展を目指し、事業を推進してまいります。



学生の間に身につけたい「社会人基礎力」について

社会人として必要なマナーや言葉使いなど、今後社会で生きていく上で必要な能力を身につけていく場として、インターンシップに参加してみませんか。社会人基礎力は意識し、鍛えることで身につきます。学生のうちにインターンシップで「社会人基礎力」を鍛えて、一步先へ進みましょう！

[3つの能力 / 12 の能力要素]

1 前に踏み出す力(アクション)

～一步前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～

- 主体性 …… 物事に進んで取り組む力
- 働きかけ力 …… 他人に働きかけ巻き込む力
- 実行力 …… 目的を設定し確実に行動する力



2 考え抜く力(シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～

- 課題発見力 …… 現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- 計画力 …… 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- 創造力 …… 新しい価値を生み出す力

3 チームで働く力(チームワーク)

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～

- 発信力 …… 自分の意見をわかりやすく伝える力
- 傾聴力 …… 相手の意見を丁寧に聞く力
- 柔軟性 …… 意見の違いや立場の違いを理解する力
- 情況把握力 …… 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- 規律性 …… 社会のルールや人との約束を守る力
- ストレスコントロール力 …… ストレスの発生源に対応する力



「社会人基礎力」とは、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力から構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、経済産業省が2006年から提唱しています。企業や若者を取り巻く環境変化により、「基礎学力」「専門知識」に加え、それらをうまく活用していくための「社会人基礎力」を意識的に育成していくことが今まで以上に重要となってきています。 ➡ 経済産業省ホームページより <https://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/>



京都の社会があなたのキャンパスになる

大学コンソーシアム京都 インターンシップ・プログラム2023

INTERNSHIP PROGRAMS 2023 説明会

オンライン
開催

ビジネスコース / パブリックコース / 長期プロジェクトコース
説明会・相談会

4月15日(土) 18:00～

全コースについての説明会・相談会です。それぞれのコースの特長や出願方法、修了生の体験談などを紹介します。

長期プロジェクトコース
説明会・相談会

4月20日(木) 18:00～

長期プロジェクトコースのみの説明会・相談会です。実習先のご担当者がプロジェクト内容を説明します。

▶入退場自由 / 服装自由
▶1回生から参加可能！

参加申込方法は、
ポータルサイトで
案内します。





長期プロジェクトコース

- 実習先業種:
非営利組織
- 立命館大学
- 3回生(参加時)
- 山本 陽士さん

ビジネスコース

- 実習先業種:
商社・卸売
- 同志社大学
- 2回生(参加時)
- 湯木 美乃里さん

パブリックコース

- 実習先業種:
官公庁
- 龍谷大学
- 1回生(参加時)
- 田宮 和瑳さん

長期プロジェクトコース

- 実習先業種:
小売・販売・専門店
- 京都文教大学
- 2回生(参加時)
- 安達 愛唯さん

大学コンソーシアム京都

インターンシップ・プログラム 修了生座談会

これまでの修了生の
体験談やメッセージが
こちらからご覧いただけます。



立場や目標、働くことへの思いもさまざまな4名にインターンシップの様子や感想を語っていただきました。

—大学コンソーシアム京都のインターンシップに参加した動機を教えてください。

湯木:授業を選択する際、一般教養で見つけました。私はそれまで実践的に何かに取り組んだことがなく、将来、就職などを考えた時に不安を感じていたんです。このインターンシップは全学

年が参加することができ、他大学・他学年の人たちとも交流できるので、そこに魅力を感じて参加することを決めました。

田宮:僕は大学のインターンシップ紹介を受けての参加です。1回生なので、入学して1ヶ月以内に決断した感じです(笑)。勢い半分でしたが、やっぱり大学に入ったからにはいろいろ体験したいと思って。僕は高校の頃、生徒会に入っていて公的な仕事に興味がある一方、市役所などとは接点がありませんでした。この機会に公務員の仕事がどんなものなの

か体験して、目指すかどうかを決めようと思いました。

安達:私はこのインターンシップに参加した先輩から話を聞いて、面白そうだったので参加を決めました。所属する学部がこども教育学部なので、3・4回生になると、実習で忙しくなってしまいますし、保育以外の社会を知るのは2回生の今しかない!と思いました。そしてどうせなら訪問先と深く関わって、社会人の楽しい面も厳しい面もしっかり体感したいと考え、長期プロジェクトコースを選択しました。

山本:私たち3回生は、大学入学と同時に新型コロナが流行して、課外活動などが制限された年代です。1・2回生で何もできていないという焦りを感じていた時、ゼミの教授から勧められて説明会に参加しました。インターンシップは他にもありますが、大半が1dayや3daysです。それで社会人の本当のことが知れるのか?と疑問を持っていたので、約半年間も学べる長期プロジェクトコースは魅力でした。大きなことに腰を据えて取り組めば、自信に繋がると思いました。

—実際に参加して、どのような学びがありましたか?

山本:私は京都市北部の山里・花背地域で、豊かな自然環境を維持しながら、地域の文化や経済を発展させる方法を探る、地域おこしのプロジェクトに参加しました。実習内容は、自分で課題を



たからにはいろいろ体験したいと思って。僕は高校の頃、生徒会に入っていて公的な仕事に興味がある一方、市役所などとは接点がありませんでした。この機会に公務員の仕事がどんなものなの

見つけて、課題解決のために自分から提案して動くというものだったので、何か役割を与えられるわけではありません。私はもう一人の参加者と共に、地域外の人に花背の魅力を知ってもらうため、地域で採れた日本蜜蜂の蜂蜜を使ってパンケーキを作り、地域の人と一緒に食べるというワークショップを企画。周知や運営も行いました。企画を実現するためには、自分の意見ややりたいことをきちんと整理して言語化し、共感・協力を得る必要があります。今回の実習では、その機会を多く設けてもらつたので、経験したことを講義や他のインターンシップ、就活や卒業研究などにも活かしたいと思います。



安達: 私が実習で参加したのは、京丹後市「日本一小さな百貨店」をベースに、持続可能な暮らしを考えるというプロジェクトです。山本さんと同じく、何をしてもいいと言われて悩んだのですが、自分が子どもと関わる学部であることから、地域が抱える少子高齢化という課題に注目。地域の子どもたちが1日店長を務める「子ども百貨店」を企画・開催しました。企画を進める中で、



大人と子どもの意見が合わず、板挟みになることもありました。問題を前向きに捉えて落としどころを考えるという過程から、柔軟な思考力と対応力が磨かれたと感じています。また、私自身、社会人になることに不安があったのですが、訪問先や地域の方々と接することで、将来こうありたいという自分の社会人像

が明確になりました。これは大学という同年代が集まるコミュニティにいるだけでは得られなかつた学びだと思います。

田宮: 僕が訪れたのは市役所で大学政策を担う部署なのですが、そこはまさにこのインターンシップや学生に向けた支援・施策などを行なっているところ。他の部署を訪問しているインターン生にヒアリングをするという名目で、役所の仕事を横断的に知ることができたので、公務員を目指す上での判断材料が増えましたし、学生が参画しているイベントの会議に参加してさまざまな考え方を聞くことで、同じ学生としての刺激も受けました。また、実習後にインターン生が集まって学びを報告し合う事後学習会では、企画から運営、司会まで担当させてもらったことも貴重な経験になりました。参加者のほとんどが上回生なので緊張しましたが、一つの「仕事」をやり遂げたことの達成感を味わうことができました。

湯木: 10日間の実習で私が印象に残っていることは、毎朝行つた2分間のスピーチと顧客訪問の二つです。スピーチのお題は自由なのですが、初めは何をどう話せばいいか分からず、趣味につい

て5分間も話してしまって……。しかし回を重ねるうち、結論から始めるといった話し方のコツや、資料を提示するといった伝え方の工夫を学び、話す力や準備力が身についている実感。人前で話すことに自信がつきました。もう一つの顧客訪問は、顧客の方々から課題を伺った後、自分たちが考えた解決策をプレゼンテーションするというものです。中には、課題をうまく抽出できず不本意な結果に終わることもありましたが、そこでも一つの学びがありました。足りなかったことを探して後悔するのではなく、今ある材料を生かして臨機応変に対応する。この気づきは、これから学生生活でも社会人になってからもきっと役立つと思います。

—後輩の皆さんへメッセージをお願いします。

安達: 長期プロジェクトコースは約半年間という長期間にわたつて実習先と関わり、課題に臨むため、やり遂げられるか不安に思っている方もおられるかもしれません。私自身も不安を抱えてのスタートでしたが、3ヶ月目ぐらいから成長を実感し、不安がやりがいに変わっていました。このインターンシップに参加しようと考えている方は、学びたいことを決めている方も多いと思います。でも、実際に参加してみたら、絶対に思っていた以上の学びがあるのでおすすめです!

湯木: 私は10日間という短い間でしたが、参加したことで「働く」ということを具体的に学ぶことができ、将来のイメージも思い描くことができました。また、事前事後学習では、少人数のゼミ形式でビジネススキルや言葉遣いなど、社会人に必要な基礎的な能力を磨くことができるので、就活やその先にも学びが活かせるのではないかと思います。

田宮: 1回生から挑戦してみて良かった! 僕はこれに尽きます。インターンシップを経験して、何かしらの学びや気づきを得た上で過ごす学生生活と、そうでない学生生活は濃密さが違うと思います。これは学生生活に限ったことではなく、早め早めに動くことで、その先の充実度合いはきっと変わるんじゃないかな。あと、1回生から参加しているということだけで、どこでも褒めてもらえるので、早めはお得です(笑)



山本: 私が一緒に実習をしていたもう一人も、実は1回生だったんですね。入学した直後にインターンシップに参加……もうその行動できているだけすごい。一歩リードができていますよね。今、パンフレットを読んでいる人の中には、興味はあるけれど学業や就職活動との両立、実習先の期待に応えられるだろうかといった理由で参加を迷っている人、不安を感じている人もおられると思います。でも、そういう人ほど成長のチャンスです。普段と違う環境に飛び込んで、あえて知らない世界に身を置いてみれば、絶対に何かしら感じ、学ぶことが出てくる。それが成長のきっかけになると思います。このインターンシップはコーディネーターの先生と距離が近く、サポートも充実しているので、迷っている方は、思い切って飛び込んでみてください。

6月中旬から事前学習を行い、8月～9月中旬に、
企業・行政機関・非営利組織において2週間（10日間）～1ヶ月程度の実習、
その後の事後学習まで体系化されたコースです。

対象 大学・短期大学・大学院の正規学生
受講料 10,000円（加盟大学以外の学生 15,000円）



→ ポータルサイト
(ビジネスコース / パブリックコース)



2023年度 コーディネーター

- | | | |
|------------------|-------------------------------------|-------------------|
| ● 加藤 康（京都経済短期大学） | ● 嘉本伊都子（京都女子大学） | ● 岸岡 洋介（京都外国語大学） |
| ● 黒宮 一太（京都文教大学） | ● 古谷 伸子（大谷大学） | ● 須賀 涼太（京都産業大学） |
| ● 関 智宏（同志社大学） | ● 高野 拓樹（京都光華女子大学・
京都光華女子大学短期大学部） | ● 多湖 雅博（京都文教大学） |
| ● 多田 実（同志社大学） | ● 濱田 崇嘉（龍谷大学） | ● 平本 毅（京都府立大学） |
| ● 古川 秀夫（龍谷大学） | ● 松村 千鶴（京都府立大学） | ● 三保 紀裕（京都先端科学大学） |
| ● 山岸 達矢（京都橘大学） | | |

ビジネスコース コーディネーター

濱田 崇嘉（龍谷大学）

膨大な経験値を得ることができるインターンシップ

インターンシップ（IS）は、今や大学生にとって、参加するのが当たり前のものになりました。各大学で実施しているものや、企業が個別に実施しているものなど、一口にインターンシップといっても様々です。では、大学コンソーシアム京都のISと、他のISとの違いは何でしょうか？それは、ズバリ、「知識と経験の共有」にあります。本プログラムでは、他大学の学生とともに、実習に行く事前準備をして、そして実習が終わったら、実習で得た知識と経験を共有します。これによって、一人だけでは得ることのできない膨大な知識と経験を短期間で得ることが可能になります。これが本プログラムの醍醐味です！



パブリックコース コーディネーター

黒宮 一太（京都文教大学）

「公務員として働く自分の姿」をより明確なものに！

公務員になりたいと思っている人、「公務員になって何をするの？」と尋ねられたとき、ちゃんと答えられるでしょうか？おそらく難しいですよね。それもそのはず、わたしたちが日々暮らしているなかで公務員の方たちがどのような仕事をされているのかを知る機会はそれほど多くないからです。ぜひパブリックコースを受講してください。実際に公務員の方たちが取り組んでいらっしゃる日々の仕事を経験させてもらうことで、自分が知らなかった公務員の仕事を、また、日々の仕事への向き合い方を知ることができ、いまの自分に足りないこと、もっともっと磨かなければならない素養や技能は何かも明確になります。他の学生たちとともに学びあい、「公務員として働く自分の姿」をより具体的に思い描けるようになります！



2023年度 講義計画

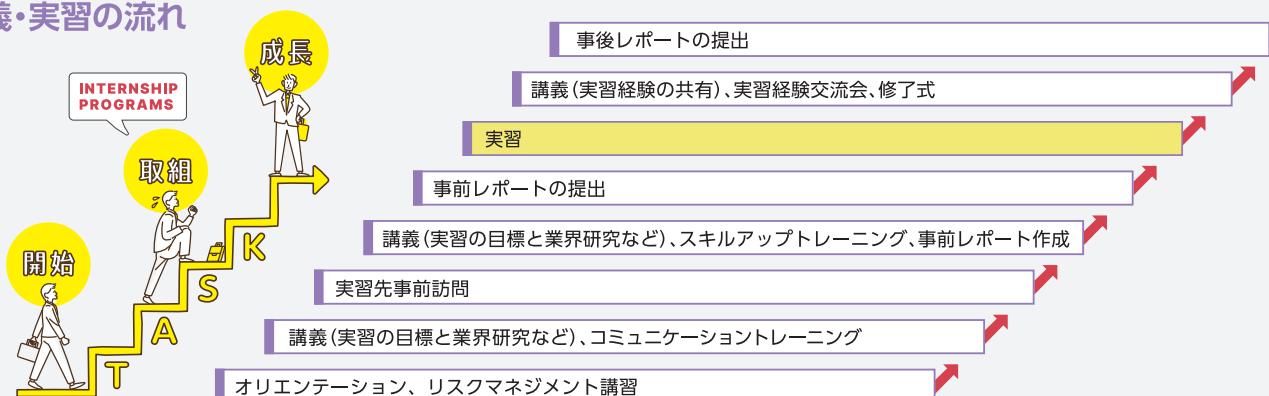
講義実施方法：オンライン(Zoom)

日程	コマ数	時間	講義名	講義単位	内容	
6/17 (土)	第1講	10:00~10:30 (30)	オリエンテーション①：プログラム参加にあたって	全受講生	プログラムの概要やプログラムに臨む心構え等を説明します。	
		10:30~11:00 (30)	リスクマネジメント講習①：事前学習に向けての心構え		インターンシップ・プログラムを受講する上でのリスクマネジメントを学びます。	
	第2講	11:20~12:50 (90)	クラスの相互理解	クラス	クラスに分かれ、担当教員を中心として、クラスメンバーの紹介をします。	
	第3講	13:50~15:20 (90)	実習に向けた仮説と目標の設定①	クラス	グループディスカッションを中心として、仮説と実習目標設定のための意見交換を行います。	
	第4講	15:30~16:30 (60)	コミュニケーショントレーニング		就業意識の向上、ビジネスマナーの基本、対人関係の中でのコミュニケーション能力等について、専門講師を招いて講習します。	
	第5講	16:40~18:10 (90)		オンラインでのコミュニケーションの取り方を学びます。		
受入先との事前打合せ(初顔合わせ)： 6月22日(木)～7月7日(金)の間に実習先を訪問またはオンラインでの打合せを行い、実習内容・期間の確認、事前学習レポート作成に向けてアドバイス等の指導を受けます。						
事前学習	第6講	10:00~11:30 (90)	業界と社会に対する学習①	クラス	受入先担当者や修了生のゲストスピーカーによるお話をもとに受入先について探し、事前学習レポート作成のポイントを学び、内容を深めます。	
	第7講	11:40~12:40 (60)	業界と社会に対する学習②			
	第8講	13:40~15:10 (90)	スキルアップトレーニング	クラス	ロジカルシンキングの獲得を目指し、専門講師を招いて実践的理論を学びます。	
	第9講	15:20~16:50 (90)			オンラインでのグループワーク、コミュニケーションの取り方を学びます。	
	第10講	10:00~11:30 (90)	実習に向けた仮説と目標の設定②	クラス	グループディスカッションを通じ、事前学習の総まとめとして、実習目標を明確にします。また、事前学習レポートの書き方のポイントを学びます。	
7/8 (土)	第11講	12:30~14:00 (90)	実習に向けた仮説と目標の設定③	クラス	グループディスカッションを通じ、事前学習の総まとめとして、実習目標を明確にします。また、事前学習レポートの書き方のポイントを学びます。	
	第12講	14:10~15:40 (90)	実習に向けた仮説と目標の設定④	クラス	事前学習レポートの内容をより深めます。	
	第13講	16:00~17:00 (60)	リスクマネジメント講習②： 実習・事後学習に向けての心構え	全受講生	実習中に留意しなくてはならないリスクについて学びます。実習にあたっての準備、確認・注意事項を確認します。	
		17:00~17:30 (30)	オリエンテーション②： 実習・事後学習に向けての事務連絡		レポート提出、実習中、事後学習に必要なポイント説明、事務連絡を行います。	
	7/15 (土)	予備日	10:00~18:00	※事前学習日に講義休止が発生した場合の予備日		
実習	実習の実施 (原則として8月1日(火)～9月15日(金)の期間で実施されます。実習期間中に担当コーディネーターによる中間指導があります。)					
補講日	9/9 (土)	補講日	9:00~10:30 (90) 10:50~12:20 (90)	※クラスによって実施される場合があります		
事後学習	9/16 (土)	第14講	10:00~11:00 (60)	実習経験の共有①	クラス	実習において得たことや感じた課題等について相互に発表を行い、個々の体験をクラスで共有します。それらに基づくディスカッションを通して仮説の検証を行い、レポートの内容を深めます。
		第15講	11:10~12:10 (60)	実習経験の共有②		
		第16講	13:10~14:40 (90)	実習経験の共有③	クラス	実習経験交流会に向けて、クラスとしての経験共有をまとめます。
		第17講	15:00~16:30 (90)	実習経験交流会	クラス	実習を通して学んだことをクラスごとに発表し、他のクラスの発表を聞くことで、考え方や伝え方などを学び、事後学習レポートの内容に反映させます。
		第18講	16:40~17:40 (60)	実習経験の振り返り／全体講評／修了式	グループ	他のクラスからのコメントを踏まえ各クラスで振り返りを行った後、全体講評による振り返りと修了証を授与します。
	9/23 (土)	予備日	10:00~18:00	※事後学習日に講義休止が発生した場合の予備日		

■事前学習レポート提出期間：7月8日(土)～15日(土)

■事後学習レポート提出期間：9月16日(土)～9月30日(土) ※事前/事後学習レポート提出最終日の締切は12:00(正午)です。(時間厳守)

講義・実習の流れ



ビジネスコース

製造(食品)

- 2558 株式会社石田老舗
3386 亀屋良長株式会社
3458 丹波ワイン株式会社
1158 株式会社西利

製造(アパレル・織維)

- 3408 岡山工芸株式会社

製造(電気機械設備)

- 1045 株式会社カシフジ
1142 寺崎電気産業株式会社
3472 日工電子工業株式会社
3398 由利ロール株式会社
3415 和晃技研株式会社

製造(半導体・精密機器)

- 3325 株式会社魁半導体
3473 菅原精機株式会社
3303 株式会社積進

製造(その他)

- 3338 株式会社ShinSei
3320 株式会社セイワ工業
3353 株式会社箭木木工所

マスコミ・広告・印刷・出版

- 3055 アートム株式会社
2160 株式会社あおぞら印刷
3187 株式会社京都通信社
3467 株式会社文化時報社
3424 宮川印刷株式会社
3435 株式会社ユニオン・エー
3370 株式会社らくたび

情報・通信・IT

- 1080 協和テクノロジーズ株式会社
3354 株式会社クラックスシステム
3412 株式会社KCNなんなん
3301 大和電設工業株式会社
3317 株式会社ディレクターズ・ユニバ
3474 株式会社るーぶ

商社・卸売

- 1100 株式会社佐野
2533 株式会社ヒトミ
3234 富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
京都支社

小売・販売・専門店

- 1072 京都生活協同組合
3387 生活協同組合コープしが
3276 株式会社ハートフレンド(総合食品スーパー・フレスコ)
3021 株式会社花工房

金融・証券・保険

- 3033 株式会社葵総合保険
1022 株式会社エスアールエム
3238 SMBC日興証券株式会社
3129 西村証券株式会社
3452 株式会社ラクール保険事務所

不動産・建築設計

- 3406 株式会社インテリアホソイ
2527 京都駅ビル開発株式会社
3321 株式会社空間デザイン
3399 株式会社クレバー
3264 有限会社一級建築士事務所 ターボ設計
1138 株式会社長栄
3290 株式会社莫設計同人
2131 株式会社フラット・エージェンシー
2116 株式会社ローバー都市建築事務所

土業(法律・会計事務所)

- 3049 弁理士法人京都国際特許事務所
3440 こもだ法律事務所
1156 弁護士法人中村利雄法律事務所

コンサルティング・調査・研究

- 1104 サンスイコンサルタント株式会社
3148 株式会社地域未来研究所
3190 株式会社Hibana
3291 株式会社ユメコム

デザイン

- 1109 株式会社ジイケイ京都

ホテル・旅館

- 1018 ウェスティン都ホテル京都
3316 株式会社国華荘 びわ湖花街道
3227 里湯昔話 雄山荘
3395 杣家株式会社

観光・旅行

- 3228 オーパルオブテックス株式会社
3372 京都新聞企画事業株式会社(京都新聞旅行センター)
1151 西陣くらしの美術館富田屋
3169 有限会社丸益西村屋

エンタテイメント

- 3044 ビーイングホールディングス株式会社

レジャー・アミューズメント

- 2492 近鉄レジャーサービス株式会社(志摩スペイン村)
3279 株式会社ビックスマイル
3384 Y'sスポーツガーデンパデル京都

ビジネスコース

Business Course

教育(学校・大学等)

- 2314 大谷大学
- 2320 京都外国语大学 京都外国语短期大学
- 3451 京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部
- 3060 国立大学法人京都工芸繊維大学
- 1066 京都産業大学
- 2309 京都女子大学
- 3110 京都精華大学 京都国際マンガミュージアム
- 2337 京都先端科学大学
- 2565 京都文教大学
- 2312 同志社大学
- 2322 立命館大学
- 2282 学校法人龍谷大学
- 3345 社会福祉法人熊千代会 こぐま上野保育園
- 1125 公益財団法人大学コンソーシアム京都

医療・福祉

- 3350 公益社団法人京都市身体障害児者父母の会連合会
- 3449 社会福祉法人京都福祉サービス協会
- 3362 社会福祉法人清和園 京都市久世特別養護老人ホーム
- 3266 医療法人社団 千春会
- 3319 社会福祉法人同胞会 DOHOグループ

安全・メンテナンス・清掃

- 2119 株式会社アイアム
- 3323 株式会社ワタナベ美装

人材ビジネス

- 2141 株式会社OVO
- 3269 株式会社学生情報センター
- 3475 株式会社ワークステーション

その他

- 3468 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団
- 2592 公益財団法人びわ湖芸術文化財団

パブリックコース

Public Course

官公庁

- 2101 綾部市役所
- 1238 宇治市役所
- 2396 近江八幡市
- 3447 大津市
- 1243 亀岡市役所
- 3306 川西町役場
- 1244 京田辺市
- 1245 京都市
- 1246 京都府庁
- 1248 草津市役所
- 1251 滋賀県庁
- 3052 摂津市
- 1254 長岡京市役所
- 3071 彦根市
- 3469 防衛省 自衛隊京都地方協力本部 河原町募集案内所
- 1255 宮津市役所
- 1256 守山市役所
- 3056 野洲市
- 2289 栗東市役所

非営利組織

- 3114 一般財団法人大阪教育文化振興財団
- 1264 特定非営利活動法人気候ネットワーク
- 3359 特定非営利活動法人京都藝際交流協会
- 3477 公益社団法人京都市身体障害者団体連合会
- 2470 京都市野外活動施設 花背山の家
- 1267 公益財団法人京都市ユースサービス協会
- 1268 一般財団法人京都ユースホステル協会
- 3462 特定非営利活動法人クリエイター育成協会
- 1269 公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)
- 3330 特定非営利活動法人
子育て支援コミュニティおふいすパワーアップ
- 3244 特定非営利活動法人
子ども自立の郷ウォームアップスクールここから
- 3223 特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21
- 2436 認定NPO法人びわこ豊穣の郷

2023年2月10日現在の登録企業・団体です。最新情報は、随時更新中のポータルサイトで確認してください。
※企業・団体名の前の4ヶタ数字はID番号です。

 実習先の追加や実習内容変更の可能性があります!
出願前に必ずWebで最新情報を確認してください!



実習先リストの確認

ポータルサイト

(ビジネスコース/パブリックコース実習先リスト)



実習内容の確認

実習先検索サイト

実習予定日、受入要件、実習のアピールポイント、ご担当者からのメッセージなど掲載



※ポータルサイト トップページ
からも検索サイトに簡単に
アクセスできます。



●実習内容は感染拡大状況などにより実施時に変更する場合があります。

6月中旬～11月下旬にかけて、企業・行政機関・非営利組織が提示する
プロジェクトを実行するコースです。

対象 大学・短期大学・大学院の正規学生

受講料 15,000円(加盟大学以外の学生 20,000円)



→ ポータルサイト
(長期プロジェクトコース)



2023年度 コーディネーター

- 小辻 寿規 (立命館大学)
- 坂本 清彦 (龍谷大学)
- 桜沢 隆哉 (京都女子大学)
- 築地 達郎 (龍谷大学)
- 西村 雅信 (京都工芸繊維大学)
- 野村 実 (大谷大学)
- 吉田 咲子 (京都光華女子大学・
京都光華女子大学短期大学部)

長期プロジェクトコース コーディネーター

吉田 咲子 (京都光華女子大学)

時代の変化に対応するインターンシップ経験を

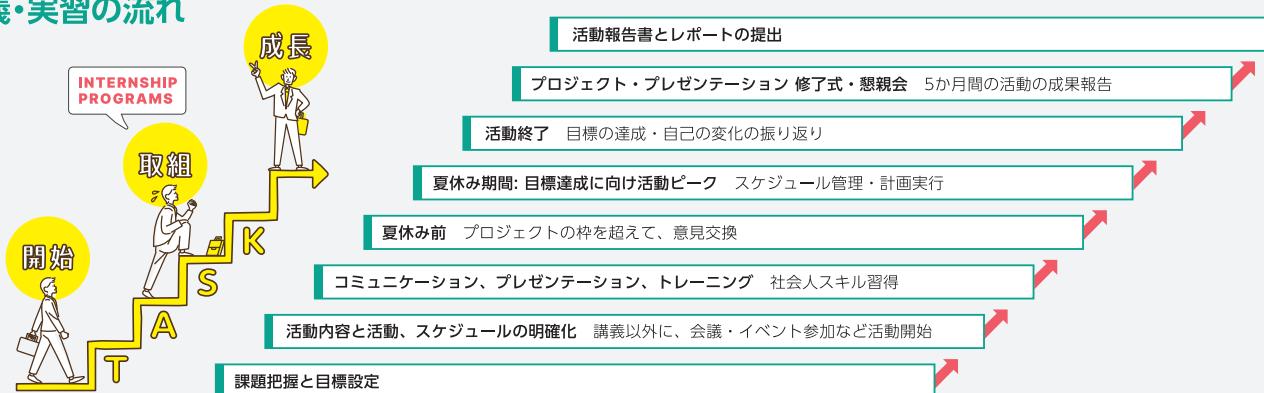
大学コンソーシアム京都の長期プロジェクトコースは、企業が求める力を常に意識しています。

異なる大学で学ぶ学生がチームとなり、受入先との協働で実社会の課題に取り組み、学生らしい発想で解決策を企画立案し目標達成を目指します。

人生はプロジェクトの連続です。実社会に導入されているオンラインツールを活用しながら社会人基準の結果を残す体験は、今後みなさんが直面するプロジェクトでの糧になると考えます。学生の間により多くのプロジェクトに挑戦し、目標達成することで自信につなげてください。



■ 講義・実習の流れ



6/22(木) 実施 特別講演

これからの働き方、
求められる
コミュニケーション能力
について、
実践されている方の
考え方や事例を学びます。

18:30～19:30 組織を変えるコミュニケーション

講師:パナソニック株式会社 戦略本部 CCXOチーム
長谷川 錦哉 氏

卒業後、松下電器産業(現パナソニック)に入社。産業機器、ユーザーインターフェースなどのデザインを手掛けた後、1998年より、音響機器のデザインを担当。2012年から、イギリス(ロンドン)に赴任し、デザインセンター欧州拠点長として最先端のデザインと開発プロセスを日本に発信し続ける。2022年4月より現職。10年先を見据えたブランド価値の最大化を推進。

くらしの進化を支えるため、新たな価値を提案するパナソニック。デジタルとネットワーク技術が進化する時代に一人ひとりが求めるものとは何か？その答えを見つけ出す組織の働き方をお話しいただきます。



2023年度 講義計画

会場：キャンパスプラザ京都

全体の流れ	日程	コマ数	時間	講義名	講義単位	内容			
プロジェクトの導入	6/15(木)	第1講	18:30~19:00 (30)	オリエンテーション(プログラムの概要)	全受講生	プログラムの概要、諸注意、事務連絡、担当コーディネーターの紹介。			
			19:00~19:30 (30)	プロジェクトの導入 (インターナシップ概論)		インターナシップ及びプロジェクトの概念について理解する。			
		第2講	19:40~21:10 (90)	プロジェクトのテーマの共有とチーム形成 (受入先に対する理解とプロジェクトのアイデア出し)		受入先の事業目的と課題を理解し、チーム形成に繋げる。			
	受入先事前訪問期間:6月16日(金)~6月21日(水)の間に実習先を訪問またはオンラインでの打ち合わせを行い、プロジェクトについて指導、アドバイスを受ける。 (プロジェクトごとに設ける)								
	6/22(木)	第3講	18:30~19:30 (60)	特別講演 (組織を変えるコミュニケーション)	全受講生	外部講師を招き、これからの働き方、求められるコミュニケーション能力を考える。			
		第4講	19:40~21:10 (90)	プロジェクトマネジメント概論		プロジェクトの形成と管理の概要を理解する。(ワークシート①から④までの理解と共有)			
	6/29(木)	第5講	18:30~19:30 (60)	プロジェクトの形成 (プロジェクトの目的と目標の設定)	全受講生	受入先の事業に対する理解を踏まえて、プロジェクトのアイデアを出す。			
		第6講	19:40~21:10 (90)		各プロジェクト				
	7/6(木)	第7講	18:30~19:30 (60)	プロジェクトの管理	全受講生	コーディネーターからの講義を通じて、プロジェクト管理の手法を学ぶ。			
		第8講	19:40~21:10 (90)	プロジェクトの形成 (目的と目標の共有、タスク分析)	各プロジェクト	プロジェクトのアイデア発表とガントチャートの作成。			
プロジェクトの形成	7/13(木)	第9講	18:30~19:30 (60)	プロジェクトの形成 (作業タスクの洗い出し、スケジュールの作成)	各プロジェクト	ワークシートに取り組み、プロジェクトの作業タスクとスケジュールを作成する。			
		第10講	19:40~21:10 (90)	プロジェクト・マネジメント (進捗の共有)	全受講生	他のチームの受講生との意見交換を行い、プロジェクト活動の完成度を高める。			
	7/20(木)	予備日	18:30~19:30 (60)	※夏期休暇前に講義休止が発生した場合の予備日。					
		予備日	19:40~21:10 (90)						
	夏期休暇中には、受入先ごとにプロジェクトを行います。								
	9/7(木)	第11講	16:50~17:50 (60)	プレゼンテーショントレーニング (映像コンテンツの活用法)	全受講生 各プロジェクト	プロジェクトの夏期活動中間報告に向けて映像コンテンツの活用法を学ぶ。			
		第12講	18:00~19:30 (90)	サマーセッション プロジェクト・マネジメント (プロジェクト夏期活動中間報告)		映像を制作し、中間報告を行う。			
		第13講	19:40~21:10 (90)						
	夏期休暇中には、受入先ごとにプロジェクトを行います。								
プロジェクトの振り返り	10/5(木)	第14講	18:30~19:30 (60)	プロジェクト・マネジメント (プロジェクト夏期活動報告)	各プロジェクト	映像を作成して、それぞれのプロジェクトにおける夏期休暇中の活動を報告しあい、質問や感想を交換する。			
		第15講	19:40~21:10 (90)						
	10/12(木)	第16講	18:30~19:30 (60)	プロジェクト・マネジメント (プロジェクトのアウトプットの最終確認)	各プロジェクト	受入先とコミュニケーションを取りながら、ワークシートの全体像を確認する。			
		第17講	19:40~21:10 (90)						
	10/26(木)	第18講	18:30~19:30 (60)	プロジェクト・マネジメント (プロジェクト・プレゼンテーションにむけた準備)	各プロジェクト	プロジェクト・プレゼンテーションにむけた準備を行う。			
		第19講	19:40~21:10 (90)						
	11/2(木)	予備日	18:30~19:30 (60)	※夏期休暇後に講義休止が発生した場合の予備日。					
		予備日	19:40~21:10 (90)						
プロジェクト報告・評価	11/11(土)	第20講	10:40~12:10 (90)	プロジェクト・マネジメント (自己評価:プログラム受講を通して自己の変化を振り返る)	全受講生	プログラム受講を通じた自己の変化を振り返る。			
		第21講	13:00~14:30 (90)	プロジェクト・プレゼンテーション 修了式		約5ヶ月にわたるプログラムの総括として、プロジェクトごとに活動報告を行う。全体で、それぞれのプロジェクトの到達点について相互評価を行い、今後の学生生活の目標を明らかにする。			
		第22講	14:40~15:40 (60)						
		第23講	15:50~17:50 (120)						

●講義はキャンパスプラザ京都(対面)で実施します。但し、感染症の拡大状況他、その他の社会状況によりオンライン(Zoom)にて実施する場合があります。

●7月、8月、9月の毎週少なくとも1回は受入先または実習現場(オンラインを含む)での活動を行います。

●学習レポートおよびプロジェクト報告書 提出期間:11月11日(土)~16日(木) ※最終日の締切は12:00(正午)です。(時間厳守)

実習先一覧 長期プロジェクトコース

脱炭素社会と再生可能エネルギー100% 実現に向けた調査・情報発信

ID3245 特定非営利活動法人気候ネットワーク

脱炭素社会の実現に向けて「再生可能エネルギー100%実現」「脱炭素地域づくり」に関する情報収集・発信、調査研究、イベント開催、広報等を行います。新しいスキルを身につけ、構想力・創造力・企画力の向上につながる体験をしてください！



気候ネットワークWebsite → <https://www.kikonet.org/>

WebサイトやSNSのメディアコンテンツ拡充及びPR

ID3364 株式会社デイアライブ

情報メディアサイトへの記事投稿やSNSのコンテンツ制作、およびプロジェクトの企画サポートをお願いいたします。実際に投稿する内容の企画、画像や動画の作成、分析まで幅広く挑戦していただきます。



dayalive Website → <https://dayalive.jp/>

Rediscovery Label おもろい新商品シール開発

ID3431 株式会社大槻シール印刷

当社は「まちのシール屋さん」。シールは身近な存在ですが、その使い道はまだ未開拓。シール印刷の実際を理解して、新しい感覚の商品の企画開発から製品の完成、ネット等での販売方法を考え実践します。学生さんの感性に期待しています！



(株)大槻シール印刷Website → <http://www.otsuki-seal.co.jp/>

子どもが抱える「困った」を地域で解決していくための取り組み・仕組みづくり

ID3461 特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば

子どもを取り巻く環境はどんどん悪くなっています。子どもの貧困は7人に1人という数字で社会課題の一つとなっています。コロナ禍で家庭環境の厳しさが増す中、誰も取り残さない社会にするにはどうしたらいいのか、活動を通して一緒に考えてみましょう。



山科醍醐こどものひろばWebsite → <http://www.kodohiro.com/>

きょうのやましなさんプロジェクト

ID3285 株式会社インサイトハウス

山科を歩き回り、子供から大人、お年寄りまで様々な方の想いやストーリーを聴き、集め、インタビュー記事として形にして、HP、Facebook、フリーペーパー、回覧板、絵本などを通して地域の人々向けに発信。まずは「自身が楽しむ」をモットーに活動していただきます。



やましなさんWebsite → <https://ie9000.jp/yamashina/>

「つくる」×「つたえる」のチカラを学ぼう！

ID3409 関西巻取箔工業株式会社(KANMAKI)

今ものづくりで「つくる」のは、商品(プロダクト)だけじゃない。情報(コンテンツ)や企業文化(カルチャー)もちゃんとつくれ、それを「つたえる」ことが大切です。そのサイクルをKANMAKIの仕事を通じて学んでいただき、これからの就活やお仕事人生に活かしていただきたいと思っています。



KANMAKI note → <https://note.com/kanmaki/>

日本一小さな百貨店で考える持続可能な暮らし

ID3460 つねよし百貨店

京都府北部、京丹後市にある【日本一小さな百貨店】。商店、コミュニティセンターとしての百貨店をベースに、お客様や地域の方との交流を通じ、持続可能な暮らし、理想とするコミュニティのあり方を考えます。具体的な活動内容は実習生の専攻や希望を聞きながら決定します。



つねよし百貨店 Website → <http://e-mura.jp/tsuneyoshi/>

「福祉×IT×地域」で障害者が安心して働ける世の中づくりプロジェクト

ID3463 特定非営利活動法人クリエイター育成協会

私たちは、障害者の方が持つスキルを活かし、企業や地域にとって欠かせない存在となるようサポートしています。事業所に通う方々の魅力と、社会のニーズをマッチさせるためにできることは何か?一緒に考え、広い視野でアイデアをまとめてください。何かで一步を踏み出してみたいーそんな学生さんもぜひ参加ください!



クリエイター育成協会Website → <https://cra.jp/>

ローカルな活動団体さんの 新たな出会いときっかけを創出する企画・実施プロジェクト

ID3464 有限責任事業組合まちとしごと総合研究所

私たちが運営する伏見いきいき市民活動センターでは、伏見区をフィールドに活動する多様な団体を応援しています。活動団体だけでは、活動を広げていくことや困りごとを解決することが難しい場合があります。活動団体のみなさんと共に、新たな出会いときっかけづくりのための取り組みを企画・実施しましょう！

伏見いきいき市民活動センター Website → <https://www.ikik243.com/>



若者向け就職情報フリーマガジン 「おっちゃんとおばちゃん」を悩める学生に発信しよう！

ID3471 株式会社ユニオン・エー

16歳~30代の若者に向けた就職情報誌「おっちゃんとおばちゃん」を企画・発行しています。就活を始める前、または就活真っ只中で、自分の進路悩んでいる学生や若者の手に届けたいです。企画から一緒に考えましょう。媒体についてはもちろん、皆さん自身が「働く」についてじっくり考える機会にしたいです。



union-a Website → <https://union-a.co.jp/>

～花背フィールドラボプロジェクト～

ID3466 一般社団法人 Impact Hub Kyoto

花背は、千年以上の歴史を持つ祇園祭のちまき笹の採集地で歴史的背景から「都の源泉」と呼ばれています。ここをフィールドにそこでの暮らしや生き方を学びながら、さまざまな異分野の人々と一緒に、環境が持続しながら発展する地域づくりに挑戦しませんか？



Impact Hub Kyoto Website → <https://kyoto.impacthub.net/>

京都こども宅食プロジェクト ～こどもの貧困問題を考える～

ID3476 社会福祉法人あだち福祉会

京都こども宅食は、生活の厳しいご家庭に定期的に食品を『届ける』ことにより『繋がり』を作り、各ご家庭を見守りながら、困りごと等必要に応じて適切な支援に『繋げる』ことを目標としています。この活動の普及や新しいコミュニティの形成に向け、新しい視点で一緒に活動していきましょう。



京都こども宅食プロジェクト Website → <https://kyoto-kodomotakushoku.com/>

 実習先の追加や実習内容変更の可能性があります！
出願前に必ずWebで最新情報を確認してください！

実習先リストの確認

ポータルサイト

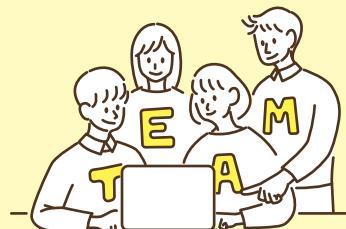
(長期プロジェクトコース実習先リスト)



実習内容の確認

実習先検索サイト

実習予定日、受入要件、実習のアピールポイント、ご担当者からのメッセージなど掲載



※ポータルサイト トップページからも
検索サイトに簡単にアクセスできます。

●実習内容は感染拡大状況などにより実施時に変更する場合があります。

長期プロジェクトコース 説明会・相談会

2023年4月20日(木) 18:00～
@オンライン(Zoomミーティング)

長期プロジェクトコースのみの説明会・相談会です。
各実習先のご担当者より、会社概要やプロジェクト内容を説明します。

□ 当日スケジュール(予定)

【全体説明会】

- ・長期プロジェクトコースの特長
- ・修了生の体験談

【プロジェクト別 説明会・相談会】

プロジェクトごとのブレイクアウトルームでは、ご担当者の方に直接質問をしたり、昨年参加した先輩修了生からの体験談を聞くこともできます！

※当日スケジュールは変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。





インターンシップ参加の流れ



出願から実習開始までの6つのステップを紹介します。

STEP 1 コースを決定する

大学コンソーシアム京都のインターンシップには、2週間～1ヶ月程度の実習を行う「ビジネスコース／パブリックコース」と実習先から提示されるプロジェクトを実行する「長期プロジェクトコース」の2つのコースがあります。それぞれのコースの特長を把握してから決定してください。
※ビジネスコース／パブリックコースと長期プロジェクトコースを併願することはできません。

ビジネスコース / パブリックコース → P5～P8

長期プロジェクトコース → P9～P12

STEP 2 実習先を検索する

企業・団体・官公庁・大学など豊富な分野から、インターンシップ先を選びます。実習先検索サイトから検索してください。企業・団体名だけではなく、登録内容(実習内容や実習期間、受入要件)を確認してください。

実習先検索 Find Placement

一般企業から官公庁、そして非営利組織など。
大学コンソーシアム京都のインターンシップだから参加できる企業がたくさん！



STEP 3 出願する

【Web出願期間】4月7日(金) 9:00～5月5日(金) 12:00(正午)

※入力した内容、控えについては、各自で保管してください。

入力途中での保存はできませんのでご了承ください。

実習先は、第3志望まで選択できます。但し、ビジネスコース／パブリックコースでは、「次選考」を行う企業・団体は第1志望でしか選べません。

出願はこちら Entry application

大学生なら誰でもエントリーできる！京都の他大学の学生と一緒にインターンシップに参加しよう！



STEP 4 面接を受ける

【面接日】● 5月12日(金) 15:30～18:30

● 5月13日(土) 10:00～15:00

※出願者全員に対して面接(1次選考)を実施します。

※ビジネスコース／パブリックコースはグループ面接、長期プロジェクトコースは個人面接です。

※オンライン(Zoom)で実施しますので、Web出願時に面接日時を予約してください。

※面接時は、原則スーツ着用です。

STEP 5 選考結果発表

【発表日】6月3日(土)

ポータルサイトにて受講許可者の選考番号一覧を掲載します。出願者全員に対して、選考結果通知書を郵便にて送付します。

※実習先に直接問合せをしないでください。

※選考結果通知書は、Web出願の際に登録された住所にお送りします。

※受講許可者には、選考結果通知書にて決定した実習先をお知らせします。

STEP 6 受講料を支払う

選考結果通知書に同封されている払込取得票を使用のうえ、期限内にコンビニエンスストアより払込み手続きを行ってください。

【振込期限】6月12日(月)

● 受講料

ビジネスコース／パブリックコース 10,000円(加盟大学以外の学生は、15,000円)

長期プロジェクトコース 15,000円(加盟大学以外の学生は、20,000円)

受講料は、講座運営費・保険料・施設使用料・その他諸費用にあてられます。

Q&A (学生からよくある質問)



※詳細はポータルサイトを確認してください

出願・面接について

Q:出願方法を教えてください。

出願期間内にWebを通じて出願してください。出願データを登録する際、入力途中で保存はできませんので、別途下書きを作成・保存しておくことをお勧めします。Web出願の手順・作成方法については、HPをご覧ください。

Q:志望理由はどのようなことを書くのでしょうか？

「インターンシップを通じてどんな成長をしたいのか」「どんな社会経験を積みたいのか」など、個別の志望先の志望理由ではなく、インターンシップ全般に対する意欲を400字以内で記入してください。志望理由については、決定した実習先に公開します。

Q:面接はどのように行われますか？

オンラインにて面接(ビジネスコース／パブリックコースはグループ面接、長期プロジェクトコースは個人面接)を行いますので、Web出願時に面接日時を予約してください。面接日2日前までにZoom接続先、集合時間、注意事項等をお知らせします。面接時の服装は、原則スーツ着用です。

インターンシップ・実習について

Q:実習日程は決まっていますか？

出願時に既に実習日程が決定している実習先もありますが、決まっていない実習先については、実習先事前訪問時に双方確認・相談のうえ、決定する予定です。

Q:実習は対面で行われますか？

実習先によって、オンラインで実施する実習先もありますので、志望実習先の実施方法について十分確認してください。社会状況により、対面の予定からオンラインに変更となる場合があります。

対面で実施される実習に参加する場合は、実習先から提示される感染症予防対策を遵守するとともに、各自、健康管理に気を付けてください。対面での実習参加に対して疑問や不安がある場合は、インターンシップ事業推進室(事務局)にご相談ください。

Q:実習地への交通機関は？

出願する前に、実習地に公共交通機関で通勤できるか、所要時間をよく確認してください。バイク・自動車での通勤は一切認められていません。

事前・事後学習、講義について

Q:どんな服装で参加すればいいですか？

講義内容によってスーツ着用が必須の日と、普段着の日があります。初日の服装は、選考結果通知書とともにお知らせします。

Q:ビジネスコース／パブリックコースの事前・事後学習はどのように行われますか？

事前・事後学習は全てオンラインで実施します。講義内容によって受講生全体またはゼミクラスに分かれて講義を行います。ゼミクラスは実習先の業種や実習内容で分かれており、担当コーディネーターの先生や様々な大学の学生と交流できます。

Q:長期プロジェクトコースの講義はどのように行われますか？

原則、キャンパスプラザ京都にて対面で行います。感染症の拡大など、社会情勢の変化に応じて、適宜オンラインになる場合がありますのでご了承ください。講義出席に対して疑問や不安がある場合は、インターンシップ事業推進室(事務局)にご相談ください。

Q:講義に出席できない日があります。

ビジネスコース／パブリックコースの事前・事後学習、長期プロジェクトコースの講義は、出席必須です。あらかじめ予定を調整してください。

留意点と約束事



大学コンソーシアム京都のインターンシップ・プログラムに参加するにあたり、必ず読んで下さい。

●誓約書について

実習中のトラブル発生時の責任の所在を明確にするために実習先に対して誓約書を提出します。インターンシップは契約関係の上に成立していることを十分心得て、個人個人が確固たる自覚を持って実習を取り組んでください。

●保険の加入について

実習中の事故に備えて、実習生は「普通傷害保険」「個人賠償責任保険」に加入します。(保険料は受講料に含み、手続きは、大学コンソーシアム京都が一括して行います。)

●守秘義務について

実習先にとっての機密や個人情報等に触れる機会がありますが、このような情報を公開したり漏洩したりすることは、社会人として信用性を疑われるだけではなく、法的責任を課せられることにもなりかねません。勝手に資料をコピーする、許可もなく外部に持ち出す、SNS等に書き込むなどの行為等は絶対に行わず、責任をもって行動してください。

●無断欠勤・遅刻について

実習中は実習先の就業規則を遵守し、遅刻・無断欠勤等は厳禁とします。最低限定刻の15分前には出勤するように心がけましょう。実習期間中に病気及び緊急の用件等でやむを得ず欠勤する場合は、必ず実習先担当者に連絡を入れてください。また車・バイクでの通勤は一切認められていません。

●リスクマネジメントについて

実習中に発生した事故やトラブルに対しては、原則として参加実習生個人の自己責任において処理し、問題解決までを行うよう努めてください。もし、困ったことがあれば事務局までご相談ください。あくまでも社会のルールにのっとった姿勢で実習に臨んでください。

●プライベートは自己責任

実習時間外のお付き合い等(酒席・食事など)はインターンシップ実習ではありません。各自で考えて行動してください。

●ハラスメントについて

大学コンソーシアム京都では、ハラスメント相談室を設置しています。困ったときには些細なことでもご相談ください。相談方法は、電話またはメールで、ハラスメント相談員宛にご連絡ください。

連絡先:TEL 075-353-9103(日・月曜日を除く 9:00 ~ 17:00)

メール:talk@consortium.or.jp

●通信環境・機器について

出願、面接、事前・事後学習及び講義において、ビデオ会議システム(Zoom)を活用して実施します。各自、下記の通信環境・機器を揃えたうえで受講してください。(Web面接までに準備ができるべく)

①インターネット回線 ②カメラ・マイク ③パソコン(パソコンでの参加を推奨します。)

加盟大学・短期大学一覧

● 国立大学

京都大学
京都教育大学
京都工芸繊維大学

● 公立大学

京都市立芸術大学
京都府立大学
京都府立医科大学
福知山公立大学

● 私立大学 短期大学

池坊短期大学
大谷大学
京都医療科学大学
京都外国语大学
京都外国语短期大学
京都華頂大学
華頂短期大学
京都看護大学
京都経済短期大学
京都芸術大学
京都光華女子大学
京都光華女子大学短期大学部
京都産業大学
京都女子大学
京都精華大学

京都西山短期大学
京都先端科学大学
京都橘大学
京都ノートルダム女子大学
京都美術工芸大学
京都文教大学
京都文教短期大学
京都薬科大学
嵯峨美術大学
嵯峨美術短期大学
種智院大学
成安造形大学
同志社大学
同志社女子大学
花園大学
佛教大学
平安女学院大学
明治国際医療大学
立命館大学
龍谷大学
龍谷大学短期大学部
大阪医科薬科大学
京都情報大学院大学
放送大学・京都学習センター

2023年3月現在



公益
財団 法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

インターンシップ事業推進室

窓口受付時間：火～土曜 9:00～17:00

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都内

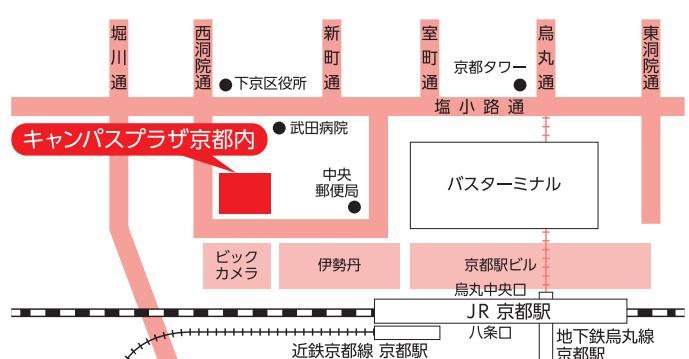
※京都市営地下鉄、JR・近鉄「京都駅」から徒歩7分程度

TEL. 075-353-9106 FAX. 075-353-9101

E-Mail : intern@consortium.or.jp

インターンシップ・プログラム ポータルサイト
<https://www.consortiumkyoto-internship.jp>

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 ウェブサイト
<https://www.consortium.or.jp/>



大学コンソーシアム京都 インターンシップ